

事例4-3

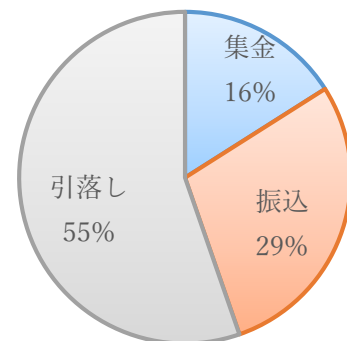
取組名	町会費の銀行口座引き落としによる役員の負担軽減		
町会名	よしかわもっこう 芳川木工町会（芳川地区）	町会 データ	・人口／1,404人 ・世帯数／712世帯 ・高齢化率／24.7% ・町会加入数／441（個人） ・自治組数／6自治組 ・隣組数／42組
取組概要	○ 町会役員の負担軽減の一環として、8年前から町会費の口座引き落としを導入し、町会加入者の約6割が利用		

背景・課題

- ・ 隣組は42ある。組長は1年任期の輪番制で、防災や衛生など7つの部の正副部長を分担している。正副部長の選出は、各部内で調整している。
- ・ R6年度に、役員をやりたくないからという理由で1つの自治組（マンション）が町会を離脱した。町会活動をやりたくないというのが理由。
- ・ これまでも役員の負担軽減を図ってきたが、なるべく組長の負担軽減を図ってきたがその分、町会長に負担が集中している為、町会長の負担軽減を検討している。

- ・ 同じ支店内であれば振込手数料が無料な点や銀行まで出向く必要がない点などの利点がある。

芳川木工町会 町会費の集金手段別割合（金額ベース）



経過・取組内容

- ・ 町会費の徴収について、8年前から口座引き落としを導入している。各自治組長や組長が個別に訪問して集金する手間を省くのと、取りまとめた高額なお金を扱う会計役の事故の回避を趣旨としている。
- ・ 町会加入者のほぼ6割が口座引き落としにしている。
- ・ R6年度の実績では、町会費の金額全体の約55.3%が口座引き落としによる。
- ・ 口座引き落とし以外では、振込によるものが28.7%、集金によるものが16.0%となっている。
- ・ 二つの金融機関と契約し、手数料は1件当たり55円。これとは別に、法人向けインターネット・バンキングの手数料（月3,300円×12月＝年間39,600円）が掛かっている。

成果・今後の展望等

- ・ 自治組長や組長、会計など役員の負担軽減になっている。
- ・ 口座引き落としの利用に当たり経費（手数料）も発生しているが、それ以上に負担軽減の効果が大きいと認識されている。
- ・ 今後も負担軽減の検討を継続しつつ、口座引き落としの利用促進も図りたい。

【ポイント】

- ▼ 町会費の口座振替により、自治組長や組長、会計の業務負担を軽減